

関西言語学会
第38回大会プログラム

2013年6月8日(土)・9日(日)

同志社大学 今出川キャンパス

602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

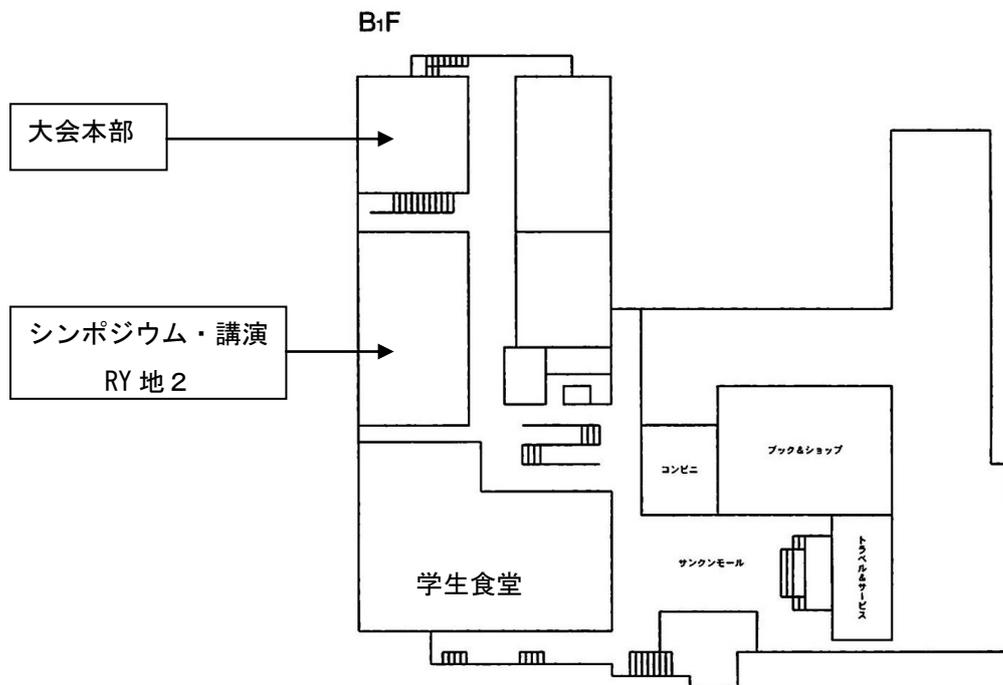
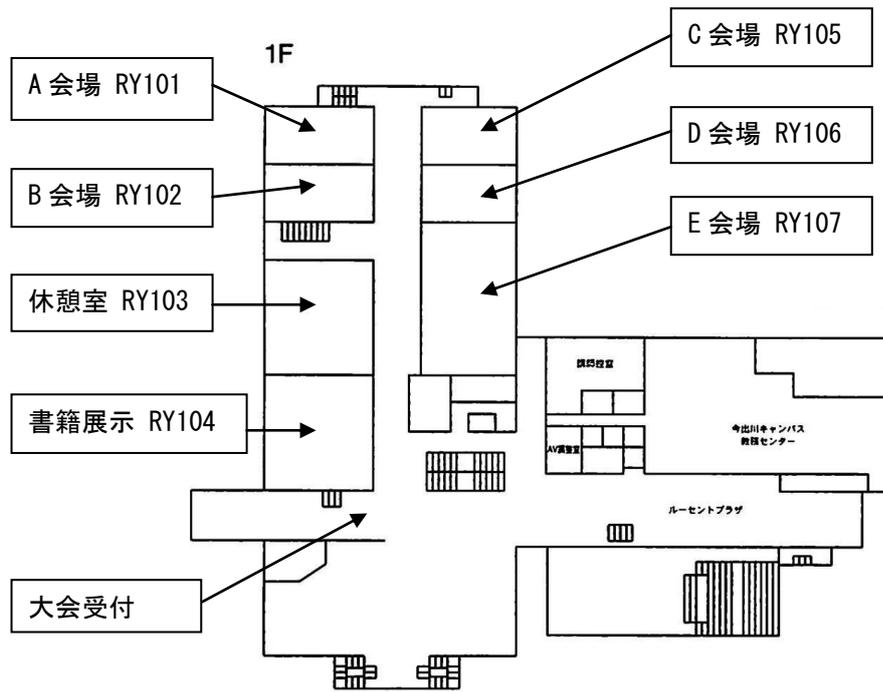
関西言語学会事務局

<http://kansailingsoc.sakura.ne.jp/>

651-2187 兵庫県神戸市西区学園東町 9-1

神戸市外国語大学

会場案内 同志社大学 今出川キャンパス 良心館



スケジュール

6月8日(土)	12:00-	受付開始	良心館 1階
	13:00-	開会	RY 107教室
	13:15-14:30	研究発表 I	A-E会場：良心館 RY101, 102, 105, 106, 107教室
	14:45-17:45	シンポジウム	良心館 RY地2 教室
	18:00-20:00	懇親会	継志館 地階教職員ラウンジ

6月9日(日)	9:30-	受付開始	3号館 3階ホール
	10:00-11:55	研究発表 II	A-D会場：良心館 RY101, 102, 105, 106教室
	10:00-12:00	ワークショップ	E会場：良心館 RY107教室
	13:10-14:25	研究発表 III	A-E会場：良心館 RY101, 102, 105, 106, 107教室
	14:45-16:15	招待講演	良心館 RY地2 教室
	16:15-	総会・閉会	良心館 RY地2 教室

例年とは異なり、初日(6月8日)は午後からの開催になります。ご注意ください。

□ 大会参加について

- ・ 事前に会員登録をお願いします。大会前10日以内に会費納入された方は振替受領書をお持ち下さい。会費納入が確認できない場合、当日会費のお支払いをお願いします、後日確認後返金いたします。会員登録については学会ウェブサイト (<http://kansailingsoc.sakura.ne.jp/>) をご覧下さい。
- ・ 会員は参加無料(会員登録も当日行っております)。当日会員は一般2,000円、学生1,000円です。
- ・ 受付で会員登録を確認したうえで、名札をお渡しします。会場では名札を着用ください。名札のない方は入場できません。

□ 懇親会

- ・ 第1日のシンポジウム終了後、継志館 地階教職員ラウンジで懇親会を開きます。発表者の方も、一般会員の方も、気軽にご参加ください。(会費：一般4,000円、学生3,000円)

□ 昼食 **訂正があります!**

- ・ 8日(土)は、良心館地下の学生食堂の営業があります。
- ・ 9日(日)は、良心館地下の学生食堂の営業はございません。昼食をご持参ください。

第38回大会プログラム

第1日：6月8日（土）

大会受付開始 [良心館 1階] 12:00

開会 [良心館 1階 RY107教室] 13:00-13:10

開会の辞

関西言語学会 会長 西光 義弘

開催校挨拶

同志社大学 副学長 渡辺 好章

研究発表 I [良心館 1階] 13:15-14:30

A会場 RY101 教室

司会：松本 曜（神戸大学）

1 (13:15-13:50) Elliptical Utterances in Spoken English Revisited

柴田 かよ子（京都府立大学大学院生）

2 (13:55-14:30) コーパスに見られる「kamlang」の文法化について：Progressiveの意味から
Imperfectiveの意味へ

ラッタナセリーウォン・センティアン（大阪大学大学院生）

B会場 RY102 教室

司会：田窪 行則（京都大学）

1 (13:15-13:50) 中国語双数量詞構文の意味構造：なぜ「ご飯が人を食べる」と言えるのか？

于一楽（神戸大学大学院生）

2 (13:55-14:30) 言語使用の三層モデル：文法と語用論の関係に関する日英語対照研究
[招聘発表]

廣瀬 幸生（筑波大学）

C会場 RY105 教室

司会：林 博司（神戸大学）

1 (13:15-13:50) 程度を表す「くらい」の助詞後接形「くらい+α」に関する考察：

「くらいに」は副詞的用法か

川崎 一喜（京都府立大学大学院生）

2 (13:55-14:30) 日本語の補文化辞がもつ統語的性質について：「収束」という概念

莊司 育子（大阪大学）

D会場 RY106 教室

司会：有村 兼彬（甲南大学）

1 (13:15-13:50) 「自己」漢語動詞構文の統語的派生と階層的二重構成素

阿部 雄一郎（神戸松蔭女子学院大学大学院生）

2 (13:55-14:30) Predicate Ellipsis, Phases and Cleft Constructions in Japanese

向 明栄茂（大阪大学大学院生）

E 会場 RY107 教室

藏藤 健雄 (立命館大学)

1 (13:15-13:50) An Individually Catered Scalar Approach to the Personal Variation in Perceiving the Binding Relation in Japanese

山口 麻衣子 (大阪大学大学院生)

2 (13:55-14:30) 英・日本語の否定極性表現の主・目的語位置における認可の非対称性について：主要部移動仮説の批判的検討と VP 内部主語仮説による対案

渡辺 敏久 (関西学院大学大学院生)

シンポジウム [RY 地 2 教室] 14:45-17:45

外国語教育における文法のあるべき姿

司会：西光 義弘 (神戸大学名誉教授)

誤文訂正 4 段階鏡像モデルの提案

西光 義弘 (神戸大学名誉教授)

母語についての意識を基盤にした学習英文法

大津 由紀雄 (明海大学)

日本語教育における文法のあるべき姿

野田 尚史 (国立国語研究所)

コメンテーター：白井 恭弘 (ピッツバーグ大学)

懇親会 [継志館 地階 教職員ラウンジ] 18:00-20:00

(会費一般 4,000 円, 学生 3,000 円)

第2日：6月 9日 (日)

研究発表 II 10:00-11:55

A 会場 RY101 教室

司会：鍋島 弘治朗 (関西大学)

3 (10:00-10:35) Depression メタファーの再考察：Source domain の構造から見た depression メタファー

脇田 早織 (フリー)

4 (10:40-11:15) 古英語と現代英語の hydraulic model に基づくメタファーの比較について

高森 理絵 (大阪大学大学院生)

5 (11:20-11:55) 換喩と略語の連続性：文字・音声・意味の三項関係から

黒田 一平 (京都大学大学院生)

B 会場 RY102 教室

司会：益岡 隆志（神戸市外国語大学）

3 (10:00-10:35) 韓国語「patta」における補助動詞化について：「てもらう」と「受ける」の意味領域からの検証
安 蕙蓮（名古屋大学大学院生）

4 (10:40-11:15) 日本語の「のだ」と韓国語「것이다」の表現の差の原因：背後事情を表す「のだ」と確信を表す「것이다」
清水 孝司（大阪日本語教育センター）

5 (11:20-11:55) 韓国語の文末名詞化構文「-tanun-ke(s)」の文法的意味：他の文末名詞化構文との対照を通して
呉 守鎮（名古屋大学大学院生）・堀江 薫（名古屋大学）

C 会場 RY105 教室

司会：米田 信子（大阪大学）

3 (10:00-10:35) ジンポー語 Duleng 方言の系統的位罫について
倉部 慶太（京都大学大学院生）

4 (10:40-11:15) A Preliminary Report on the Grammar of Arta
木本 幸憲（京都大学大学院生）

5 (11:20-11:55) ラマホロット語の空間参照枠 [招聘発表]
長屋 尚典（東京外国語大学）

D 会場 RY106 教室

司会：川越 いつえ（京都産業大学）

3 (10:00-10:35) シュワー借用のメカニズム
薛 晋陽（神戸大学大学院生）

4 (10:40-11:15) 日本語母語話者による外国語音声逆行処理の研究
森 直哉（同志社大学大学院生）

5 (11:20-11:55) 日本語における自発音声のモーラ長と朗読音声のモーラ長の差異
稲田 朋晃（国際交流基金 日本語試験センター）

ワークショップ [E 会場 RY107 教室] 10:00-12:00

Reconsidering Scrambling in terms of Agree

代表者：嶋村 貢志（コネティカット大学大学院生）

辰巳 雄太（大阪大学大学院生）

田中 秀治（大阪大学大学院生）

研究発表Ⅲ 13:10-14:25

A 会場 RY101 教室

司会：菊田 千春（同志社大学）

6 (13:10-13:45) V ユクの統語構造と意味構造
新井 文人（神戸松蔭女子学院大学大学院生）

日高 俊夫（神戸松蔭女子学院大学研修員）

7 (13:50-14:25) 意味フレームに基づく日本語の語彙的複合動詞の項形成
陳 奕廷（神戸大学大学院生）

B 会場 RY102 教室

司会：西村 秀夫（三重大学）

- 6 (13:10–13:45) 法副詞の形式と機能の関係について：LOB, FLOB コーパスの分析を通して
鈴木 大介（龍谷大学）・藤原 崇（近畿大学非常勤）
- 7 (13:50–14:25) 文法化した英語動詞派生前置詞の副詞的共起関係：作例を中心に
林 智昭（京都大学大学院生）

C 会場 RY105 教室

司会：西光 義弘（神戸大学名誉教授）

- 6 (13:10–13:45) ドイツ語における *es gibt* 存在表現の意味解釈：
実主語と副詞句の指示性を中心に 大喜 祐太（京都大学大学院生）
- 7 (13:50–14:25) シンハラ語の自動詞構文における主語の格標示の多様性について
宮岸 哲也（安田女子大学）

D 会場 RY106 教室

司会：有田 節子（大阪樟蔭女子大学）

- 6 (13:10–13:45) 根拠を表すコトダカラ形式の分析 湯本 かほり（筑波大学大学院生）
- 7 (13:50–14:25) 事象叙述の属性叙述化：ハンガリー語動詞の形容詞的過去分詞の機能
江口 清子（大阪大学非常勤講師）

E 会場 RY107 教室

佐野 まさき（立命館大学）

- 6 (13:10–13:45) 2 種類の不定語とナゼ・ドウの解釈可能性 池田 則之（九州大学大学院生）
- 7 (13:50–14:25) 虚辞動詞と VP 移動の統語的制約 [招聘発表] 星 英仁（同志社大学）

招待講演 [良心館 RY 地 2 教室] 14:45–16:15

司会：龍城 正明（同志社大学）

コミュニケーション教育の現在

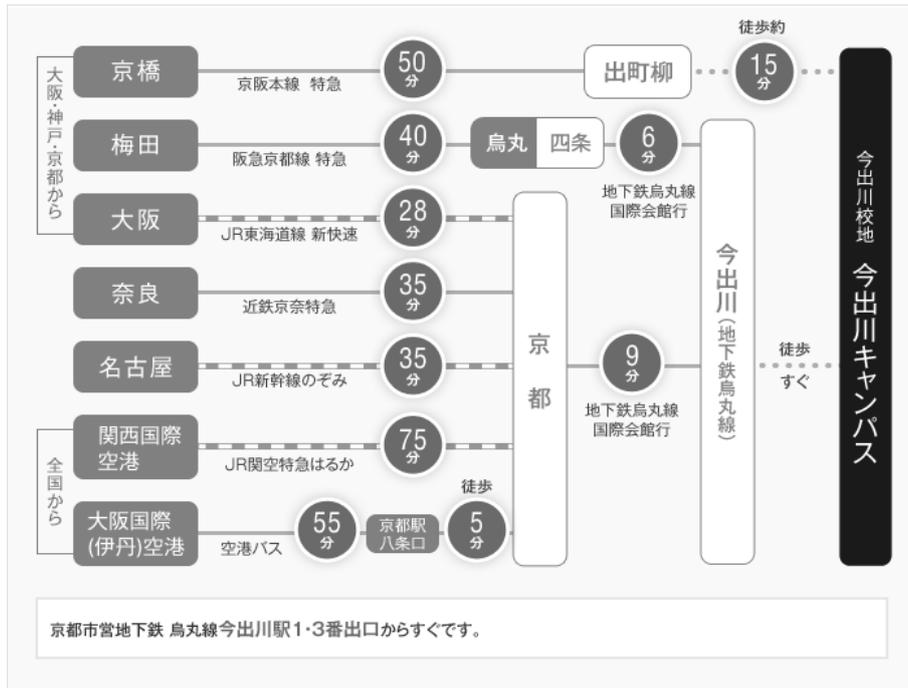
平田 オリザ（大阪大学）

総会 [良心館 RY地2 教室] 16:15

閉会の辞 [良心館 RY地2 教室] 16:45

関西言語学会 副会長 龍城 正明

同志社大学へのアクセス



大会実行委員	林 博司(委員長)	有田 節子	有村 兼彬	大庭 幸男	川越 いつえ
	菊田 千春	金水 敏	定延 利之	佐野 まさき	嶋村 誠
	龍城 正明	田中真一	谷口 一美	鄭 聖汝	鍋島 弘治朗
	西光 義弘	藤田 耕司	益岡 隆志	松本 曜	山梨 正明
	吉村 公宏				

開催校委員	龍城正明(委員長)	菊田 千春	中井悟	菅原真理子
	長谷部陽一郎	吉田優子		

事務局	山口 治彦	本多 啓	那須 紀夫	三間英樹
-----	-------	------	-------	------